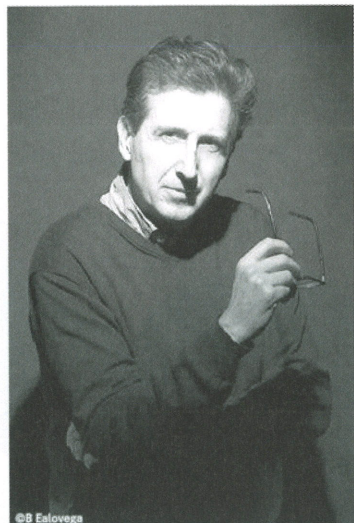




指揮 パスカル・ロフェ

Pascal Rophé, Conductor

2014～22年までフランス国立ロワール管の音楽監督、2022年からクロアチア放送響の音楽監督を務めている。パリ国立音楽院を卒業後、1988年のブザンソン国際指揮者コンクールで第2位。その後1992年から、ブレーズやロバートソンとともにアンサンブル・アンテルコンタンポランを指揮した。レパートリーは現代音楽と18-19世紀の交響楽作品を共に扱うバランス感覚をもって、ベートーヴェンからストラヴィンスキー、ブレーズに至る

楽曲を、フランス国立管、フランス放送フィル、BBC響、フィルハーモニア管、サンタ・チェチーリア国立管、スイス・ロマン管、SWR響、N響、ソウル・フィルなどと演奏している。オペラにも力を入れ、ローマ歌劇場で《タイス》、グラインドボーン・ツーリング・オペラで《ペレアスとメリザンド》、ブダペストで《さまよえるオランダ人》《カルメル派修道女の対話》、パリ・オペラ座でマントヴァーニの《アフマートヴァ》、ジュネーヴ大劇場でジャレルの《ガリレオ》を指揮したほか、トゥールーズ・キャピトル劇場では2019年に新演出のデュカス《アリアスと青ひげ》、2024年にマントヴァーニ《秋の旅》の初演を成功させた。録音も多く、フランス放送フィルやBBC響などと共演したディスクが多くの賞を受賞。フランス国立ロワール管とは、デュディユー、デュサバン、デュカス、ルーセル、ドビュッシー、ラヴェルなどを取り上げたCDをBISレーベルから立て続けにリリースし、好評を得ている。



ヴァイオリン 辻 彩奈

Ayana Tsuji, Violin

1997年岐阜県生まれ。東京音楽大学卒業。2016年モントリオール国際音楽コンクール第1位、併せて5つの特別賞を受賞。11歳にて名古屋フィルハーモニー交響楽団と共演。これまでに、モントリオール交響楽団、スイス・ロマン管弦楽団、トゥールーズ・キャピトル管弦楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団

などと共演している。また室内楽においては、阪田知樹、藤田真央、マルタ・アルゲリッチの各氏らとの共演を行っている。2017年「岐阜県芸術文化奨励」、2018年「第28回出光音楽賞」、2023年「第24回ホテルオークラ音楽賞」を受賞。ヴァイオリンを小林健次、矢口十詩子、中澤きみ子、小栗まちな、原田幸一郎、レジス・パスキエの各氏に師事。2019年4月、ジョナサン・ノット指揮／スイス・ロマン管弦楽団とジュネーヴおよび日本にてツアーを実施し、その艶やかな音色と表現によって各方面から高い評価を得た。2020年、自らが権代敦彦に委嘱した「Post Festum」を世界初演。コロナ禍にあつて国内公演の代役で幅広く活躍したことは、レパートリーを広く拡充すると共に、経験を深く積むことにつながった。2024年2月、愛知室内オーケストラにて「権代敦彦：時と永遠を結ぶ絃 ～ヴァイオリンとオーケストラのための（第72回尾高賞受賞）」を世界初演している。使用楽器は、宗次コレクションより貸与の JoannesBaptista Guadagnini 1748。



京都コンサートホール

〒606-0823 京都府京都市左京区下鴨半木町1-26

《電車でお越しの場合》

京都市営地下鉄烏丸線 北山駅下車 1番または3番出口 南へ徒歩5分

《お車でお越しの場合》

8:30～23:00(ただし、休館日を除きます。)約100台収容可能
3時間まで30分/250円、最大料金1日/1,500円でご利用頂けます。
(車高制限2.1メートルです。ご注意ください)

SMBC

SMBCグループ

確実にやるのはどこでもできる。
確実に速くやるからこそ「価値」になる。

三井住友銀行